

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: 全学交換留学 派遣先大学: アデレード大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体
5.民間企業(業界:) 6.起業 7.その他(独立行政法人)

派遣先大学の概要

オーストラリア: アデレード大学(南オーストラリア州アデレード)

留学した動機

国内外を問わず活躍できる人材に成長する上での第一歩として。元から純粋な憧れもあり、チャンスがある以上留学しない理由がなかった。

留学の時期など

- ①留学前の本学での修学状況: 西暦2014年 経済学部3年の夏学期まで履修(厳密には3年夏は履修0単位)
- ②留学中の学籍: 留学
- ③留学期間: 2014年7月～2015年7月 経済学部3年時に出発
- ④留学後の授業履修: 西暦2015年 経済学部4年の冬学期から履修開始(1年の留年を予定)
- ⑤就職活動の時期: 西暦2016年 経済学部4年の夏月頃に行う予定
- ⑥本学での単位数: 留学前の取得単位28単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位8単位
留学後の取得(予定)単位52単位
- ⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦2012年4月入学 西暦2017年3月卒業/修了
- ⑧本学入学から卒業/修了までの期間: 5年間
- ⑨留学時期を決めた理由:
最も一般的な時期だと思われたから。

留学の準備

- ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
早めを心がけるべきであるが、留学先大学からの返信は往々にして遅いので(おそらく何万人単位の生徒の手続きを同時に行っている)、そこですぐにストレスを感じたり焦ったりしないことが大切だと思います。またわからないことをメールして聞いたりするのも、いい留学準備になると思います。
- ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
ビザは手続き後3日で承認されたため、直前の申請であっても大丈夫でした。しかし留学先大学からの受け入れ許可証に不備があり、イミグレーションオフィスと連絡をとったりしなければならず、少し不安もありました。
- ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
皮膚科から多種の薬を処方されていたので、全ての薬について英語で説明を書いてもらい、税関で問われた時に見せられるようにした。特にオーストラリアは検疫が厳しいので、準備については丁寧に確認しながら行いました。
- ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
ごく一般的な海外旅行保険に加入しました。
- ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
特筆することはありません。
- ⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
TOEFL 85 不安はあったのですが、各種英語試験の対策本をやる程度でした。
- ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
銀行口座開設は、日本で仮開設を行ってから現地で本開設をした。

学習・研究について

- ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。
前期: Australia in the global economy, Professional English, Film Studies

後期: Intermediate Econometrics, Development Economics, Practical Statistics, Development Studies
(認可されるかわかりませんが念のため全ての科目について単位認定申請をする予定)

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

前期は楽な科目で課外活動重視。後期は経済系の授業をがっつりと。確かにコンスタントに宿題が出るため大変ではあるが、それを確実にこなすことでむしろ試験前に慌てることはなかったです。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

週あたりの学習時間等は目安が発表されますが、自分で何週間か体験してペースを掴むのが普通だと思います。それなりに時間はかかりましたが、日本と違い誘惑も少ないので特にきついとは感じませんでした。

④学習・研究面でのアドバイス

TAを活用すること。人に依りますが、留学生と分かれば(そうでなくとも)親切に対応してくれます。あとはネイティブスピーカーの友達にレポートを見せて英語チェックをしてもらいましたが、これも極めて有効で、レポートの質も上がるし、英語の言い回しもかなり身に付くと思います。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

早い時期から英語の足りなさを痛感したら、何かアクションを起こすことが大切だと思います。自分は英語字幕を取り外しできる海外ドラマをとにかく何度も見たり、ネイティブスピーカーの友達にトレーニングしてもらったり、英単語を0から始めたりした結果、留学の折り返しではTOEFLスコアが104まで上がりました。一度自信をつけるとさらに使う機会を多くしたくなるので、練習量も増えさらに伸びると思います。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

前期: アパート (6人部屋、キッチン共用、風呂トイレ個人) 2週間 550 豪ドル 食事: 自炊
大学に最もお勧めされていたアパートだったのでそこにしたのですが、やはり高すぎたので、
後期: ホームステイ 2週間 300 豪ドル 食事付き
現地の友達がかつてホームステイしていた所を紹介してもらいました。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

感想しているので40度でもそれほど暑く感じない。交通も便利(バス、トラム)。
物価はとにかく高いのでその点に関しては大変でした。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安はかなりよいです。週末は騒がしくなりますが危険を感じるということはありませんでした。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

・留学に要した費用総額とその内訳

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東京大学海外派遣奨学事業短期奨学金 月7万円×12ヶ月

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

ディベートチームへ参加。

また International Student Centre にリクルートされ、現地生とともに、各国からの留学生を受け入れる立場も経験しました。具体的にはオリエンテーションを主催し小旅行に連れて行ったり、毎週金曜夜に Cultural Night を開催して交流の場を作ったりしました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

自分自身がサポートセンターで働いていましたが、語学面、生活面ともにサポートが充実していました。特にアジア系の留学生が多いので、そういった点に関して慣れていてオープンな感じがしました。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

24時間空いている学習ラウンジが学内にあり、とても便利でした。ただ遅い時間になっても多くの生徒がいて席とりが少し大変でした。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

大学のサポートがあれば参加申請できたインターンに、窓口での書類提出を義務づけられた為に申請できなかったのは少し残念。しかし一般的に就活について不利なことはないと思います。(自分は一年留年を予定するため余裕があるという点もありますが…周りの友人も留学後留年する人がほとんどだと思います。)

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

国際社会にでて働くことを、以前程大変なことだと思わなくなりました。むしろ様々なバックグラウンドを持つ世界の人と仕事することに魅力を感じます。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

帰国後のインターンについてはリサーチを行い、オンライン面接等を通して選考にも入れてもらいました。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- 1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) 3.公的機関(機関名:)
4.非営利団体(団体名又は分野:) 5.民間企業(企業名又は業界:)
6.起業(分野:) 7.その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

留学しない理由がないからということでも留学をしましたが、自分に自信ができたこと、不可能はないと気付いたこと、日本の良い所悪い所を外から見る事ができたこと、留学して良かったことは挙げればキリがありません。留学中はいつも楽しいというわけではありませんでしたし、日本に早く帰って次のことをしたいと思ったこともありましたが、この1年はかけがえのないものだったと確信しています。

②留学後の予定

インターンをした後、9月から授業に復帰します。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学しない理由がないのであれば、して損はないと思います。個人的には、行くのであれば1年以上行くのがいいかと。目的にも依りますが、長期間滞在して見えてくるものは必ずあると思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。



東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時): 総合文化研究科・博士課程2年

参加プログラム: 全学交換留学制度

派遣先大学: アデレード大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体
5.民間企業(業界:) 6.起業 7.その他()

派遣先大学の概要

南オーストラリア州アデレードにある公立大学。
これまでに5人のノーベル賞受賞者を輩出しており、
その長い歴史と研究実績からオーストラリア版アイビー・リーグと呼ばれる Group of Eight の一つ。

留学した動機

専門分野において視野を広げるため。
学術論文を英文で執筆するため。

留学の時期など

- ① 留学前の本学での修学状況: 西暦2014年 博士2年の夏学期まで履修
- ② 留学中の学籍: 留学
- ③ 留学期間: 2014年8月 ~ 2015年7月 博士2年時に出発
- ④ 留学後の授業履修: 西暦2015年 博士3年の冬学期から履修開始
- ⑤ 就職活動の時期: 西暦2015年 博士3年の冬学期から(行う予定)
- ⑥ 本学での単位数: 留学前の取得単位18単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位2単位
留学後の取得(予定)単位20単位
- ⑦ 入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦2013年4月入学 西暦2016年3月修了(予定)
- ⑧ 本学入学から卒業/修了までの期間: 3年
- ⑨ 留学時期を決めた理由: 留年せずに済む時期を選んだ。

留学の準備

- ① 留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
- ② ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
- ③ 医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
(ビザ申請時に義務付けられていた)健康診断
- ④ 保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
(留学手続き段階で加入が義務付けられている)OSHC
- ⑤ 留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
- ⑥ 語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
- ⑦ 日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
自分の身体に合った常備薬(鎮痛剤、風邪薬など)

学習・研究について

- ① 履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

Politics, Ideology & Discourse

Advanced Arts Research Project ●

Gender and Race in a Postcolonial World

Social Research Advanced: Real World Practice

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

- tutorial はディスカッション方式でおこなう
- Mini Conference でのプレゼンテーション

1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など
9 units (学生ビザの要件として[ミニマム]必須)

④学習・研究面でのアドバイス

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
student hostel TVIR

宿舎の様子 環境の優れた student hostel です。

スタッフたち(マネージメント)がフレンドリー、かつプロフェッショナルな対応。親身。安心できる環境。
清潔&静か&セキュリティ万全。大学に近い(バスで20分)。

個室に、デスク、椅子、クローゼット、冷蔵庫、電話機、鏡など必要なものは全て揃っている。

寝具(毛布、枕、シーツ)もあり、シーツやバスタオルも換えてもらえる(週一回)。

キッチン、トイレ、シャワー、洗濯機等は共用。(共用エリアは、毎日、清掃スタッフが清潔に整えてくれています。)

すぐ目の前はショッピングプラザで、Woolworth や Coles などもあり、日々の食料品の買い物にも便利。

いろいろな国からの人たちが共に暮らしています。

家賃 A\$135-/week

A\$155-/week(TV, エアコンが付いている部屋の場合)

見つけた方法 大学の HP (Accommodation)

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候 留学開始月(7~8月)は寒かった。体感的には東京の11月中旬~下旬。日中は日差しがあり、暖かいが、10月からはグンと暑くなる。日差しが強烈でまぶしい。

交通機関 市内を無料で乗れるトラムがあるので重宝した。

バスは Metro card を購入し、学生運賃で乗れば比較的安価(ちなみに、乗車時間帯により、運賃が異なる)。

お金の管理方法 EFTPOS

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安 東京にいるのと変わらないレベル

医療機関 風邪をひいて かなり辛かったので病院へ行ったこともあったが、市販薬を飲んでおけ、という感じで、何もなく終わった。(問診で、重篤ではないと診断した場合、構われないようであった。)

ちなみに、受診料は請求されなかった(留學生保険 OSHC でカバーされた)。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

教科書代 かからなかった。全てオンラインで配布され、講義で使用した PPT も web に up してくれているので。

家賃 A\$135-/week

・留学に要した費用総額とその内訳

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

支給機関 JASSO

支給額 70,000円/月額

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

Language and Cultural Exchange Program (LCE) が殆ど毎週(金曜日の晩)、各国の紹介を(その国の留學生たちが)するイベント(たとえば Halloween Night USA など)を開催してくれていたため、異文化が学べて&交流できて&その国の食事も味わえて、毎回楽しく過ごせた。いつも、とてもありがたいと感じていた。多文化交流の実に素晴らしい企画だと思う。毎週、参加した。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

• とても親身で、ありがたかった。選択する科目のことで困っていたところ、交換留学ご担当の Paula さん(Professional and Continuing Education)は親身に相談にのってくださり、大学内の各方面に働き掛け、こちらの希望に沿うように取り計らいをしてくれた。おかげさまで、順調なスタートが切れました。

- Language and Cultural Exchange Program (LCE) の活動やサポートも素晴らしかった。異文化理解のための企画が充実していた。

(語学面・学習面)

- Writing Centre に於いて、英語での執筆をサポートしてもらえるので大変ありがたかった。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)

図書館・PC 環境

大学の物事は全てがとてもシステム化されていた。アクセス便利(いつでも・どこでも)。自分のペースに合わせて利用でき、安心。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

メリット:

業界・業種によっては、「できれば留学経験のある人」と求めている場合も多いので、有利です。

デメリット:とくになし

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

留学経験を活かせる就職を希望するようになった。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

未定

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

何を学びたいか、そのためにはどうしたらいいか、を常に考え、そして行動していく人が留学を意義あるものにできる人だと思います。

②留学後の予定

全学交換留学なので(在学中の)東大へ戻り、博士論文に取り組みます。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学中、困ったり迷ったり悩んだりした時は、躊躇せず、まずは大学機関のスタッフに相談してみるのいいです。周囲はとても親切で、親身にサポートしてくれます。真剣に学びたい気持ちは道を拓きます。諦めずに、ともかく相談・提案してみましよう。風通しよく。積極的に。

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時): 2014 夏
 参加プログラム: 全学交換 派遣先大学: アデレード大学
 卒業・修了後の就職(希望)先: 5.民間企業(業界: IT)

派遣先大学の概要

オーストラリア: アデレード大学(南オーストラリア州アデレード)

留学した動機

海外で働くために、学生のうちに国際的な経験を積むため。

留学の時期など

- ①留学前の本学での修学状況: 西暦 2014 年 システム創成学部 3 年夏学期まで
- ②留学中の学籍: 留学
- ③留学期間: 2014 年 7 月 ~ 2015 年 7 月 学部 3 年時に出発
- ④留学後の授業履修: 西暦 2015 年冬学期から
- ⑤就職活動の時期: 西暦 2016 年にする予定
- ⑥本学での単位数: 留学前の取得単位 40 単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位 8 単位
留学後の取得(予定)単位 44 単位
- ⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦 2012 年 4 月入学 西暦 2017 年 3 月卒業/修了
- ⑧本学入学から卒業/修了までの期間: 5 年
- ⑨留学時期を決めた理由:
行こうと思ってから、最短でいける時期だった。

留学の準備

- ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
必要事項は連絡してくれるので、その連絡にそって準備していけば問題ない。不明点はメールですぐに聞くと良い。
- ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
ビザはすぐにもらえたので、特に問題なかった。
- ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
歯医者にだけ行っておきました。
- ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
海外旅行保険に加入。
- ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
特になし。
- ⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
特に留学のために準備したことはないが、周りに留学生がいる環境だったので、日頃から話せていたのはよかったです。
- ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
特になし。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

すべて未申請。

前期: Web & Database Computing, Algorithms & Data Structure Analysis, Problem Solving & Software Development

後期: Advanced Algorithms, Artificial Intelligence, Computer Networks & Applications, Computer Systems

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

Computer Science の授業を履修した。

基本的に予習前提で、ほぼ毎回課題が出された。講義形式の授業と、課題に関する質問に答える授業(?)、グループワークをする時間があった。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

当初全く Computer Science を知らなかったため、前期はキャッチアップのためほぼ毎日授業外に 5h~8h は勉強していた。

④学習・研究面でのアドバイス

自分の興味のある授業を取ると良い。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

授業に関しては、基本的に語学で苦労することはなかったが、強いて言えば、読み物系の課題が出た時にネイティブの生徒よりかなり時間かかっていたと思う。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

宿 550 豪ドル/2w、ルームシェア

Urbanest という大学の勧めるアパートに入った。

よかった点: 大学から近い、留学生が住んでいる確率が高い

悪い点: 家賃が高い、アパート内の交流が無い

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候: 温暖ですごしやすい

食事: 美味しいレストランが少ない、高い、ので、友達と一緒に自炊するようになるまで出費大きい、不味いで大変だった。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

ダイビングをして耳の調子が悪くなった時に、大学にある病院に行った。生徒が全員入る保険(?)で無料で良心的だった。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

食事 20ドル/1d 家賃 1,000ドル/m

・留学に要した費用総額とその内訳

⑤奨学金(支給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東大の短期留学の奨学金 月 7 万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

スポーツクラブや、文化交流イベント、週末は学生のパーティ等

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
オリエンテーションが充実していて、特に困った経験なし。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)
Hub と呼ばれるスペースが 24h 空いていたのがとてもよかった

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合) 留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
Computer Science の面白さに留学中に気づいたので、エンジニアになることにした。

②(今後就職活動を行う場合) 留学が就職に対する考え方に与えた影響
海外で働くこと、生活することを検討する上での材料を得た。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)
なし。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
僕らが当たり前や、正しいと思うことは、環境にかなり依存したものであることを体感しました。
良くも悪くも日本で暮らすのは楽だなと思いました。

②留学後の予定
インターン、授業

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス
留学する目的を考えること。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。